

## 古楽マスタークラス

日程：2015年10月23日（金）、24日（土）

会場：あいれふ講堂（10F）、アクロス福岡 練習室（地下2F）・セミナー室（2F）

講師：ワルター・ファン・ハウヴェ（リコーダー）  
若松夏美（ヴァイオリン）  
鈴木秀美（チェロ）  
上尾直毅（チェンバロ）

鈴木美登里（声楽）  
前田りり子（フルート）  
佐藤豊彦（リュート）

### <タイムテーブル>

10月23日（金）あいれふ

	あいれふ講堂
13:30-14:25	リコーダー 瀬部香織
14:30-15:25	リコーダー 山田タ子
15:35-16:30	リコーダー 原田郁恵
16:35-17:30	リコーダー 山本百合子



10月24日（土）アクロス福岡

	練習室1	練習室2	練習室3	練習室4	練習室5	セミナー室1
10:00-10:55	ヴァイオリン 大河内淳一	リコーダー 宮本修	チェンバロ 西野晟一郎	フルート 吉岡充弘		声楽 田中千佳
11:00-11:55	ヴァイオリン 林内美織			フルート 福嶋聡	チェロ 明石拓爾	声楽 峯本大地
13:45-14:40	ヴァイオリン 亀之原祐介	リコーダー 南方佳子	チェンバロ 川末矢江子	フルート 土田ふみ 藤原みか	チェロ 枝澤洋行	声楽 小森直美
14:45-15:40	ヴァイオリン 廣末真也	リュート 山本浩二	チェンバロ 中野洋子	フルート 白石嘉毅		声楽 森山紀子
15:45-16:40		チェロ 為国健太	チェンバロ 山田尚子			声楽 新名美和

### ■実行委員レポート

今年の古楽音楽祭も充実した講師陣によるセミナー（マスタークラス）が開講されました。

筆者が聴講した回から一部ご紹介しましょう。ハウヴェ氏のマスタークラスは2日間にわたって行われました。「音楽とはmotion（動き）」であり、演奏する際には「どう表現するか」よりもまず先に「どう動くか」（テンポ、リズム）について考える必要がある、と仰ったことが印象的でした。一方で、各音がどの和声に属しているかについても考える必要があり、それぞれの和声の動きをどのように作り出していくのかを、バロック音楽におけるイネガル奏法と関連して説明されました。すなわち、その作品をヴァイオリンならばどのように演奏するだろうかをイメージし、弓の動き（ダウン、アップ）で長短、重軽といった動きをつけるイメージを持つと良い、といったアドバイスがなされました。





鈴木秀美氏のクラスでは、若手演奏家のグループが受講しており、古楽における通奏低音の役割やあり方についてユーモアも交えつつ具体的なレクチャーを受けていました。楽譜にある音の連なりをどのように表現するかを考える際に、「固まり」を明確に意識すべきこと、その際に西欧の言葉（アクセント、それぞれの言語の特徴）が大きなヒントになることが示され、楽器演奏全般に共通するアーティキュレーションのあり方についての話を伺うことができました。また、強弱をつけなくとも音の長さを変えることでアクセントの効果を出せることが実演で示され、実際のステージで聴いた鈴木秀美氏の演奏の「語り」の背景にある技術や考えに触れられたひとときでした。

佐藤豊彦氏のクラスでは、日本ではまだ珍しいアーチリュートの受講生によって「チャコーナ」が演奏されました。17世紀のヨーロッパの宮廷で流行したシャコンヌが、もとはアフリカ大陸で生まれ、16世紀のヨーロッパや南米への伝来を経て新たにヨーロッパナイズされたものであるという歴史的背景が共有されました。作品の背景にあるイメージを持った上で、メロディと伴奏部分を解釈し、意識して弾き分けることで、曲が立体的に浮かび上がることが体感できました。

#### ◆受講生の声（アンケートより）

○アマチュア音楽家にとって貴重な機会なのでまた参加したいです。大変ご苦労だと思いますが、よろしくお願いします。

○今年も大変お世話になりました。レッスンを受講し、大変勉強になりました。今後の練習につなげたいと思います。

○リコーダー、クラリネット、オーボエ、チェンバロやいろいろな楽器のひき方や、ふき方、ピアノとのちがいが、いろいろ分かり楽しかったし、おもしろかったです。

#### ◆聴講生の声（アンケートより）

○著名な演奏家である講師の先生方の音やレッスンをきくことができ、貴重な時間となりました。古楽的なアプローチを各楽器の面から垣間見ることが出来ました。

○普段レッスンを受ける機会がないので、この時だけでも聴講できて大変勉強になった。

○聴講大変楽しかったです。一音を大事にする大切さ、音楽家の方の繊細さ、すばらしいなと思います

○1日聴講できとても楽しく充実した時間でした。来年もぜひ受講したいです。

## 古楽セミナー

### < 合唱セミナー >

日程：10月24日（土） 9:30-16:00

会場：アクロス福岡 交流ギャラリー（2F）

講師：安積道也

受講曲：アヴェ・マリア 3曲

（1）グレゴリオ聖歌 待降節第4主日の奉献唱より

（2）William Byrdによるアヴェ・マリア

（3）Grzegorz Gerwazy Gorczyckiによるアヴェ・マリア

受講者数：35名



合唱セミナーの成果は、古楽ステージ第1部（アクロス福岡 国際会議場）にて披露され、調和した豊かな響きに会場は魅了されました。

### < 古楽アンサンブルセミナー >

日程：10月24日（土） 9:30-16:00

10月25日（日） 10:30-11:30

会場：アクロス福岡 円形ホール、練習室

講師：岩田耕作

受講曲：アンドレ・カン普拉作曲 オペラ・バレエ「ヴェニスの謝肉祭」より

受講者数：26名



古楽アンサンブルセミナーの成果は、古楽ステージ第2部において、円形ホールに舞台を移動して披露されました。バラエティに富んだ楽器編成と声楽陣の熱演によって、フィナーレが飾られました。



## 古楽ステージ【第1部】

日時：2015年10月24日（土） 14:00-16:00

会場：アクロス福岡 国際会議場（4F）

出演：

福岡リコーダーオーケストラ	[リコーダーオーケストラ]
コンヴィヴィオ・ムジカーレ	[リコーダーアンサンブル]
シルク	[リコーダー、チェンバロ]
コンサート出島	[リコーダーアンサンブル]
福岡バロックダンスの会	[バロックダンス]
宮本修	[リコーダー]
リコーダートリオ リラ	[リコーダーアンサンブル]
学びすと春日リコーダーアンサンブル	[リコーダーアンサンブル]
山田タ子	[リコーダー、チェンバロ]
オルケスタ・デ・ピコ	[リコーダーアンサンブル]
新・福岡古楽音楽祭2015合唱団	[合唱]



## 古楽ステージ【第2部】

日時：2015年10月25日（日） 10:30-13:30

会場：アクロス福岡 コミュニケーションエリア（1F）

出演：

MMmadrigalists

枝澤洋行

西野晟一郎

Die Zauberblockfloeten

河本基實

あくたリコーダーアンサンブル

飯塚コスモスコモン少年少女合唱団

芳賀史江

城輝昭、野田よう子、宮園智子

Duo FUMICA

《講師との共演》藤原みか・土田ふみ

たまの音楽家

スコラ・カントルム・イイツカ

Grace note

福岡祝祭アンサンブル

[声楽アンサンブル]

[ピッコロ・チェロ]

[チェンバロ]

[リコーダートリオ]

[ヴィオラ・ダ・ガンバ]

[リコーダーアンサンブル]

[合唱]

[歌、リュート]

[リコーダー、ヴィオール、リュート]

[フラウト・トラヴェルソ]

[フラウト・トラヴェルソ]

[ヴォイスフルート]

[合唱]

[歌、チェンバロ]

[器楽、声楽]





## ■実行委員レポート

古楽愛好者が日頃の研鑽の成果を発表できる古楽ステージは、二日間にわたって行われました。

1日目はアクロス福岡の国際会議場にて行われ、リコーダーのアンサンブルやソロ、バロックダンスなどが披露されました。また、合唱指揮者・安積道也氏の指導のもとで朝から練習を積んだ新・福岡古楽音楽祭2015合唱団が登場。3つの「アヴェ・マリア」すなわちグレゴリオ聖歌、バード、そしてポーランドのGorczycki（バッハと同時代の作曲家）のアヴェ・マリアが歌われました。練習時間は数時間でしたが、団員の気持ちが一つになって美しいハーモニーを響かせ、エネルギーに満ちた演奏でした。

2日目は、会場をコミュニケーションエリアに移して開催され、声楽アンサンブルやチェンバロソロ、器楽アンサンブルなど、バラエティに富んだ楽器編成での多彩なプログラムが披露されました。

古楽マスタークラスで講師をつとめた前田りり子氏がDuo Fumicaと共演したプログラムでは、3者のフルートの旋律が調和して、表情豊かな演奏を聴かせました。

この日の会場はアクロス1階のカフェスペース。通りがかりに思わず足を止めて聞き入った方もいらっしゃり、聴衆の皆さんも楽しめたようでした。

その後は円形ホールに場所を移して、岩田耕作氏の指揮のもと、福岡祝祭アンサンブルによってカンブラのオペラ「ヴェニスの謝肉祭」（抜粋）が上演されました。弦楽器や管楽器、打楽器とともに声楽メンバーが登場し、総勢26名が参加し、当時の民衆が生き生きと生活している情景を見事に浮かび上がらせました。熱気あふれる中、最後はヴィヴァルディの「グローリア」を会場全員で合唱し、古楽音楽祭の古楽ステージが華やかに締めくくられました。

---

## チェンバロ・ワークショップ

---

日時：2015年10月25日（日）11:00-13:30

会場：アクロス福岡 円形ホール（1F）

講師：山本 香代子

参加者：

亀井小瑚（小3）、森山美希（小3）、亀井うた（小6）、堀文佳（中1）、  
楠見健太郎（中2）、山口真知香（中2）、野口奈央（中3）、北津留美月（高1）  
染井寿子、林田一枝、松山朋美、三家育子、矢房加奈子

## ■実行委員レポート

昨年に続いて、今年の古楽祭でも初心者のためのチェンバロワークショップが開かれました。会場は円形ホール（定員120人）、親密感のある空間にアクロス所有のチェンバロが置かれました。昨年のチェンバロワークショップは青少年の部のみの設定でしたが、大人の方からの強い要望に応え、今年は大人の部も開催され、こちらではピッチを415に設定して挑戦して頂きました。講師は福岡県在住でチェンバロ奏者の山本香代子氏です。

前半の「青少年の部」に参加したのは小学生から高校生までの8名でした。全員がピアノを習っているとのことで、バッハのインヴェンションや平均率などピアノで練習してきた曲をチェンバロで演奏していただきました。感想は「鍵盤が固い」「鍵盤が軽い」「鍵盤の幅がせまい」「思ったタイミングで音が出ない」など様々で、主としてピアノとのタッチの差や出てくる音の違いを感じた人が多かったようです。

チェンバロはピアノと異なり、ツメで弦を引っ掻く構造をしているため、強弱を出しにくいという特徴があります。強弱での表現に限られる代わりに、装飾音を様々に加えたり、弾くタイミングを変えるなど、他の形で表現方法が発達しました。指のコントロールが非常に重要な楽器ですが、チェンバロの鍵盤をゆっくり目に打鍵してみると、ある所でツメが弦を引っ掻く手応えを感じる瞬間があるそうです。その

感覚を指で感じ取れるようになると、表現の幅がぐんと広がり、タッチやタイミングで強弱を変えることも可能になるとのことでした。

山本先生の演奏はJ.S.バッハのゴールドベルグ変奏曲(BWV988)から「アリア」。メロディはシンプルですが、装飾音や音色を変えながらゴージャスに響き、チェンバロの表現の多様さを味わうことができました。

この日を通して、参加者の表情からは、普段弾いているピアノがバッハの時代にはまだ存在していなかったことへの驚きや、バッハ達が弾いていたのと同様の楽器を体験して様々な発見をした様子が見られました。今後、バロック時代の音楽に接する際に、当時の楽器や音の響き等についてイメージを持つことができ、音楽生活が充実していくことを願いました。



#### ◆参加者の声（アンケートより）

○楽器のひき方、持ちようなど、よく分かりました。参加することができて良かったです。

○古楽器を沢山見たり触ったりできて大変おもしろかったし、色んなことを教えてもらえて勉強になりました。チェンバロを初めて触った我が子達も、Pianoとの違いに色々と気づき、よい経験をさせてもらえました（保護者）

---

## 交歓パーティ

---

日時：2015年10月24日（土）12:00-13:30

会場：アクロス福岡 プッフェ グランチャイナ天神店（アクロス福岡地下2F）



二日目のマスタークラスの合間をぬって、昼食の時間帯にアクロス館内にてパーティが行われました。村山実行委員長の挨拶に続いて、鈴木秀美氏に乾杯の音頭をいただいた後、各テーブルで和やかに食事と歓談が行われました。約1時間強と短い時間でしたが、多くの講師の先生方にご参加いただくことができ、参加者が先生方と談笑する姿や、参加者同士が新たに交流を深める姿が見られ、プロ・アマを越えた交流の場として意義深い機会となりました。



## 古楽器、CD等の展示

日程：2015年10月23日（金）～25日（日）

会場：23日（金） あいれふホール ロビー（10F）

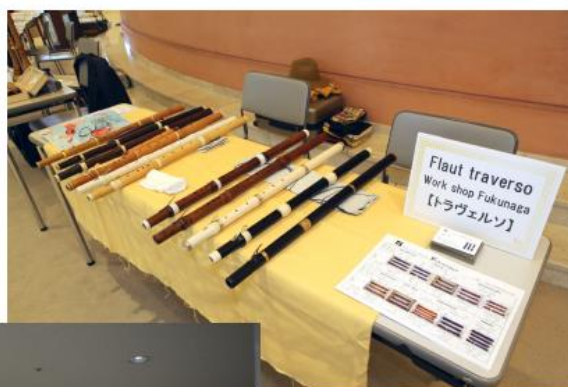
24日（土） アクロス福岡 円形ホール前（1F）、国際会議場（4F）

25日（日） アクロス福岡 円形ホール前（1F）、シンフォニーホールロビー（1F）

出展者：

edition offenburg（ドイツ）	・・・	楽譜
ユニバーサル（東京）	・・・	各種のCD, DVD
鈴木楽器（静岡）	・・・	リコーダー
バロック木管図書館（神奈川）	・・・	バロックオーボエ、バロッククラリネット
Flaut traverso Workshop FUKUNAGA（熊本）	・・・	トラヴェルソ
ローランド（福岡）	・・・	電子チェンバロ
YAMAHA（福岡）	・・・	ガット弦等

会期中、国内外から古楽器の製作者や古楽に関する楽譜出版社等が集まり、展示・販売が行われました。古楽器のリード楽器などが揃って一覧できる機会はあまりなく、直接楽器を演奏しない人にとっても興味深いものだったようで、見学する姿が多く見られました。また、古楽祭の参加者が立ち寄って楽器を試奏したり、楽器製作者や楽譜編集者に質問する姿が見られ、関心の高さが伺えました。





新・福岡古楽音楽祭2015 プレコンサート (その1)

/ アクロス・アフタヌーンコンサート vol.14

## ドミニク・ヴィス & ストラディヴァリア

日時：2015年9月16日（水）14:00開演

会場：アクロス福岡 シンフォニーホール

主催：福岡県、福岡市、（公財）アクロス福岡、（公財）福岡市文化芸術振興財団、  
新・福岡古楽音楽祭実行委員会、18世紀音楽祭協会

出演：ドミニク・ヴィス（カウンター・テナー）、高橋美千子（ソプラノ）、  
ストラディヴァリア（室内楽）

### プログラム：

ヘンデル 歌劇「ジュリアス・シーザー」より「涙のために生まれ」

ヴィヴァルディ 歌劇「バヤゼット」より「私は蔑ろにされた妻」

ヴィヴァルディ 歌劇「モテズマ」より

「もし今日、この日に私が死ぬことを」

ヘンデル カンタータ「多くの矢を私の胸に放ち」HWV.197

ヘンデル トリオ・ソナタ第1番イ長調op.5-1, HWV.396

～ 休憩 ～

ヴィヴァルディ カンタータ「もうやめてくれ」RV.684

ヴィヴァルディ トリオ・ソナタニ短調「ラ・フォリア」op.1-12, RV.63

ヘンデル 歌劇「リナルド」より「私を泣かせてください」

ヘンデル 歌劇「セルセ」より「オンブラ・マイ・フ」

ヘンデル 歌劇「ジュリアス・シーザー」より「愛する人よ！美しい人よ！」



©椎原一久

新・福岡古楽音楽祭2015 プレコンサート (その2)

/ アクロス・ランチタイムコンサートvol.46

## ～古楽との出会い～

日時：2015年10月21日（水）12:00開演

会場：アクロス福岡 シンフォニーホール

主催：福岡県、福岡市、（公財）アクロス福岡、（公財）福岡市文化芸術振興財団、  
新・福岡古楽音楽祭実行委員会、18世紀音楽祭協会

出演：鈴木秀美（チェロ）、山本徹（チェロ）、上尾直毅（チェンバロ）

### プログラム：

J.S.バッハ 無伴奏チェロ組曲 第1番ト長調 BWV.1007

I. Prelude II. Allemande III. Courante IV. Sarabande  
V. Minuet I, II VI. Gigue

J.B.ペルゴレーシ シンフォニア ヘ長調

I. Comodo II. Allegro III. Adagio IV. Presto

A.ヴィヴァルディ チェロ・ソナタト短調 RV.42

I. Prelude II. Allemande III. Sarabande IV. Gigue

F.ジェミニアーニ チェロ・ソナタ ハ長調 op.5-3

I. Andante II. Allegro III. Affettuoso IV. Allegro



©椎原一久

---

新・福岡古楽音楽祭2015 関連イベント（その1） / ミュージック☆ファクトリー vol.64  
**ルネサンスのひびき ～古楽器のアンサンブル～**

---

日時：2015年10月23日（金）12:00～12:30  
会場：アクロス福岡 コミュニケーションエリア（1F）  
主催：九州大学大学院芸術工学府ミュージック☆ファクトリー、（公財）アクロス福岡  
支援：九州大学芸術工学研究院ソーシャルアートラボ  
出演：芸エアヴァンギャルド・コンソート

**プログラム：**

ティールマン・スザート	戦いのパヴァーヌ
ルートヴィヒ・ゼンフル	愛しのエルスライン
ジェームズ・テニー	薔薇のラウンド
ハインリヒ・イサーク	インスブルックよさようなら
トワノ・アルポー	私を虜にする美しい人 ほか



---

新・福岡古楽音楽祭2015 関連イベント（その2）

**イタリア vs フランス バロック音楽聴き比べ**

---

日時：2015年10月23日（金）13時開演  
会場：アクロス福岡 円形ホール（1F）  
主催：ハルモニー・セレスト  
出演：岩田明子（ソプラノ）、市橋なざさ（ソプラノ）、長野公宣（カウンター・テナー）、  
前田りり子（バロック・フルート）、岩田耕作（チェンバロ）

**プログラム：**

第1部	イタリア ～ヴィルティオーソ 声の芸術～
	P.ベリンツァーニ 「アモールとプシケ」
	A.ヴィヴァルディ 「いつものように時は遅い」
	G.ボノンチーニ 「つかの間私を」「誰が愛の鎖に」
第2部	フランス ～ガランテ 雅な世界 宮廷音楽 フルート～
	A.ドルネル 「シャコンヌ・グラヴ」
	M.ランペール 「甘い春の魅力」
	J.プセ 「祝うのは止めなさい」
	M.モンテクレール 「フルートのためのコンセル第1番」「寛容な恨み」
	F.ブヴァール 「歌え愛らしい小鳥たちよ」



---

新・福岡古楽音楽祭 2015

**パネル展 古楽への招待状 ～時代を彩る音楽～**

---

日時：2015年10月12日（月・祝）～25日（日）10:00～18:00（最終日17:00まで）  
会場：アクロス福岡 コミュニケーションエリア（1F）

